

請求の範囲

- [請求項1] 透過光が眼内の所定位置で焦点を結ぶように形成された第1領域と、前記透過光が前記所定位置からデフォーカスした位置で焦点を結ぶように形成された複数の第2領域と、を有する眼鏡レンズであって、前記複数の第2領域は、負の球面収差を有する眼鏡レンズ。
- [請求項2] 前記複数の第2領域は、前記負の球面収差を有することで、周辺視において知覚される光が前記所定位置以外の位置における偽集光として認知されるように構成されている
請求項1に記載の眼鏡レンズ。
- [請求項3] 前記周辺視における前記透過光についてのガボール関数を用いた評価値が、前記所定位置以外の位置で極大値を有するように、前記複数の第2領域の球面収差が与えられている
請求項1または2に記載の眼鏡レンズ。
- [請求項4] 前記周辺視における前記透過光についてのガボール関数を用いた評価値が、前記所定位置以外の位置で最大値を有するように、前記複数の第2領域の球面収差が与えられている
請求項1から3のいずれか1項に記載の眼鏡レンズ。
- [請求項5] 前記複数の第2領域は、前記負の球面収差を有することで、前記第2領域の最外部を通過する光線と前記最外部から前記第2領域の半径の10%だけ内側を通過する光線との交わる位置が、前記所定位置と前記所定位置からデフォーカスした位置との間にあるように構成されている
請求項1から4のいずれか1項に記載の眼鏡レンズ。
- [請求項6] 前記複数の第2領域は、前記第2領域の中心から離れるほど曲率が小さくなるような非球面形状で形成されている
請求項1から5のいずれか1項に記載の眼鏡レンズ。
- [請求項7] 前記透過光が通過する瞳孔径の範囲内に前記複数の第2領域のうち

の少なくとも三つが配されるとともに、当該三つの前記第2領域の各基準点を結ぶ図形が鋭角三角形となるように、前記複数の第2領域のサイズおよび配置間隔が形成されている

請求項1から6のいずれか1項に記載の眼鏡レンズ。

[請求項8]

前記複数の第2領域は、六方配置されている

請求項1から7のいずれか1項に記載の眼鏡レンズ。

[請求項9]

前記複数の第2領域は、多層構造によって構成されており、
前記多層構造における最も内側の層は、デフォーカス度を付与する作用を持つ層であり、

それよりも外側の層は、負の球面収差を付与する作用を持つ層である

請求項1から8のいずれか1項に記載の眼鏡レンズ。